

動き出したロハス。 ビジネス。アライアンス

七月に設立された会員制組織「ロハス・ビジネス・アライアンス」(LBA。事務局：東京都渋谷区、03-00-53600)は、LOHASビジネスの拡大と活性化を目指している点が特徴だ。共同代表の大和田順子氏は、「先進企業の知恵を分かち合う場にした」と強調する。健康や地球の持続可能性に配慮したLOHASの考え方が漠然としていたとしても、事業化に二の足を踏む企業も少なくない中、先進企業に共通のエッセンスを広めることで、その「解」を提供する。そこで大和田氏は、LBAの概要やLOHASビジネスの見通しなどを聞いた。(池田正史)

「LBA設立の背景や、とでも、どのようにつなげるのか分からないことが多い。LBAは、そういったモデルを見ると、その認知度を共有し、分かち合う場として当たり前のこと

大和田 順子 共同代表に聞く



知恵分かち合う場に

例えば、パタゴニアなど、先進企業の経営者は、それぞれ独特な考え方や理念を持っている。しかし彼らは

また、様々な分野の企業が一緒になってプロジェクトを進めれば、新しいこと

「LBAが提案するLOHAS企業の5原則を参考にしたい」と述べている。

共通のエッセンス普及

LOHASという言葉が生まれる前から、そういった理念を持って経営してきた。これら先進企業に共通のエッセンスを広めることで、持続可能な社会の構築にもつながる。

「LBAが提案するLOHAS企業の5原則を参考にしたい」と述べている。

LOHAS企業の5原則 (LBA提案)

- ① LOHAS的な価値観をミッションに取り入れ、企業活動の指針としている。
- ② 顧客の健康に寄与する製品やサービスを提供している。
- ③ 持続可能な地球環境に配慮する企業活動を行っている。
- ④ 従業員の能力を伸ばし、幸せで豊かな生活をサポートする職場環境やワークスタイルに配慮している。
- ⑤ 顧客やステークホルダーの共感を得るコミュニケーションを実践している。

「LBAの現状や今後の定期セミナーを実施する計画にも出展し、米国の発行

「現在、企業三九社、NPO一団体、個人四〇人の計八〇者が参加している。有機栽培の農産物の卸・販売、住宅、建築、建材、金融、自然エネルギーなど多岐にわたる。二カ月に一度のペースで定期セミナーを実施する計

「国内の市場規模は現在約三〇〇〇億円とされるが、『今あるものをLOHASに置き換える』と考えると、将来的には非常に大規模になる。あらゆる分野にチャンスがある。また、起業しても、企業内における新規事業の立ち上げにしろ、チャンスは誰にでもある。中小企業も、今ある事業をLOHASに置き換えることが可能だ。顧客との共感や信頼感をベースに、経営の透明性を確保するといった基本を守れば、それほど難しく考える必要はない」

（おのおのわたしのこ）